



王塚古墳(国の史跡指定)



六角堂(ふるさと自然公園)



北叡山 各願寺の山門



300年ぶりに復活した「曲水の宴」(平成元年4月16日)



勅使塚(国の史跡指定)



五ツ塚(饅頭型の古墳が直線的に並ぶ)



富山市天文台



古洞の湯(古洞の森管理棟)



「どんぐり橋」から見た古洞の池

呉羽丘陵南北縦走

「旧北陸街道を歩く」実行委員会

第5回歴史探訪・平成24年7月21日(土)

日程とコースタイム

8:30	受付(富山の水道水ボトル配布)
9:00	班編成
9:10	開会式
9:20	古洞の森について
9:30	スタート(第1班)



(説明個所と時間帯)

①王塚古墳(国の史跡指定)	(9:50~10:30)
②婦中ふるさと自然公園、六角堂など	(10:00~10:40)
③北叡山 各願寺	(10:15~10:55)
④勅使塚古墳(国の史跡指定)	(10:30~11:10)
⑤五ツ塚古墳	(10:45~11:25)
⑥富山市天文台(冷やしトマト立ち食い)	(11:15~11:55)
⑦古洞の池	(11:35~12:15)

11:45 古洞の湯(第1班)

- ・豚汁サービス
- ・地場産野菜配布

フリータイム..... ゴール(大駐車場)

14:00 (本部解散)

(私の番号) 第 班 番

No	名称	場所	見どころ解説
概要	古洞の森	三の熊	富山市三熊に「古洞の森」と県民公園「野鳥の園」がある。古洞の森は、富山市が国の自然休養村等構造改善事業で農業用水用ダム、古洞の池を活用し農業体験が出来る施設を整備したもので大駐車場、畜産処理加工施設、水辺公園、自然活用村（研修会議室、ケビン、古洞の湯、バーベキュー、レストランなど）などがある。野鳥の園は、富山県置県百年を記念して古洞の池の周辺約73haを野鳥の保護と自然の探勝を目的に整備したもので、園内に野鳥の観察や自然散策のできる歩道が設けられており、四季を通じ、多くの鳥や樹木の花や実などを観察することができる。また富山市天文台がおり天体観察をはじめ野鳥観察などでもできる。
概要	ふるさと自然公園	新町	呉羽カントリーやかんぼの宿・富山に隣接した丘陵一帯（27.8ha）が県の指定を受けた「ふるさと自然公園」となっている。付近一帯は羽根山と称され、8世紀初頭に開基された各願寺や国の史跡指定を受けた「王塚」、「勅使塚」、「五ッ塚」などの古墳があり歴史豊かで、かつ立山連峰も眺められる風光明媚なところである。公園内は管理棟の「ふるさと創生会館」や大池、中池を中心に四季を通じて菖蒲の花やザゼンソウ、ミスバショウ等が楽しめ、また隣接する古洞池や史跡長沢城跡などへも行ける遊歩道が整備されており森林浴に多くの人が訪れている。また一角に「六角堂」「馬頭観世音碑」等が置かれている。
概要	千坊山・王塚遺跡群	新町・長沢・富崎	井田川・山田川流域の扇状地と、呉羽丘陵南側にあたる羽根丘陵、富崎丘陵に弥生時代後期から古墳時代前期の集落、墳丘墓、古墳が群をなし分布している。古墳出現期の動向が集落と墓地の両面から追える貴重な遺跡群で、かつ日本海沿岸交流を示唆する四隅突出型墳丘墓もある事から歴史的に高く評価され平成17年3月2日、史跡王塚古墳(昭和23年指定)に6遺跡が追加指定され、名称が変更された。遺跡群には、越中を代表する前方後墳の王塚古墳・勅使塚古墳、分布域の東限である四隅突出型墳丘墓が4基(六治古塚墳墓1基、富崎墳墓群3基)、前方後墳への過渡期の墳丘形態を示す前方後方形墳丘墓が1基(向野塚墳墓)、首長に繋がる系譜の集団と考えられる千坊山遺跡の弥生集落、首長を支えた層の墓地と推測される富崎千里古墳群がある。ここでは古里地区に位置するものを紹介する。
①	王塚古墳	新町	「かんぼの宿・富山」の入口に国の史跡、王塚・千坊山遺跡群の代表格である王塚古墳がある。約1700年前の古墳時代前期の前方後墳で全長58mの大型の古墳(県内で4番目の規模)で後方は、長さ31m、幅33m、頂部の高さ7.6m。前方部は長さ27m、幅26m、くびれ部の幅15m、高さ後部と5mと大きく差があり前期古墳の特徴を持っている。被葬者は、婦負地域を統治した首長と推定されているが、各願寺の開僧佛性聖人とも伝わり石碑が建っている。内部施設や副葬品などの存在が確認されていないが、墳丘形態から勅使塚古墳築造直後に造られたものと考えられる。昭和23年に国の史跡指定を受ける。
②	六角堂及び馬頭観世音像	新町	ふるさと自然公園の東面の頂きに立山連峰と対峙するかのように「六角堂」が建っている。明治42年、各願寺の秀泰住職がアメリカに移民する同胞のため、船旅の安全と真言宗の布教を祈願し創建したもので厄除大師の石仏が祀られている。また周囲に西国33カ所の観世音菩薩の石仏が安置され日露戦争で戦死した兵を弔うもので門信徒の方々から寄進されたものである。また建物も「ふるさと自然公園」に指定された時、門信徒や地区の有志が浄財を集めて新しく建立した。また六角堂から下ると「馬頭観世音菩薩」と「鎮魂碑」の石碑が並んで立っている。馬頭観世音像は、大正11年古里荷馬車組合が馬の供養と安全を祈願して県道沿いに建立したもので道路改良に合わせてこの地へ移転した。横に立つ「鎮魂碑」は婦中町畜産協議会が53年12月に建立したもので、数多く賭した家畜の霊を慰めるものである。



No	名称	場所	見どころ解説
③	北叡山各願寺	新町	「婦中町ふるさと自然公園」の東側入口に各願寺がある。この各願寺は、大宝元年(701)文武天皇の勅命により佛性聖人(天武天皇第7皇子、自信院一品親王)が帝都勅願所として創建された。法燈榮えしころは、寺坊が3千余りを有し北叡山と号し勅額を賜ったが、南北朝の建武年間(1334~1336)の頃、北陸地方に勢力を伸ばしてきた京の比叡山とたびたび勢力争いを起こし、一山灰燼にあい次第に衰えた。その後秘めたる幾つかの伝説を残すのみとなったが大永3年(1523)玄弘僧都が真言宗の寺として再興した。江戸時代に入り歴代富山藩主の復興帰依の意を受け、特に2代藩主正甫公が度々訪れるなど再び栄え境内で曲水の宴「観桜の宴」が開かれた。しかし明治3年(1870)に合寺令により寺号を廃したが、明治11年(1878)復寺を認められ今日に至る。宗派は弘法大師を宗祖とする高野山真言宗で、御本尊は薬師如来像である。また平成元年4月16日(1988)に300年ぶりの「曲水の宴」が再現され毎年開かれるようになった。
④	勅使塚古墳	新町	国の史跡指定を受ける王塚・千坊山遺跡群の一つで王塚古墳より南西側500m、谷を挟んだ山中にある。県内最古の前方後墳で、かつ全長66mで県内第2位の規模を誇っている。後方は、長さ35m、幅37m、頂部の高さ9m。前方部は長さ31m、幅24m、高さ3.5m、くびれ部の幅11mで先端部が楔形に開くなど前期古

呉羽丘陵南側(池多・古里地区)見どころマップ

No	名称	場所	見どころ解説
			墳の特徴を残している。また後方の中央に長方形の墓坑(長さ6.2m、幅6.1m)が確認され木棺が安置されていると推測される郭の痕跡がある。遺物は、3世紀末の土器(壺、高杯、蓋などの器)が発見されており墳丘頂部に供えられていたものといわれている。
⑤	五ッ塚	新町	「勅使塚」より南200mの山中に、ひっそり饅頭型をした塚が5基、南北に列して並んでいる。約600年前の建武年間、各願寺(北叡山と号す)が北陸に勢力を伸ばしてきた比叡山と勢力争いを起こしていた頃、時の帝が両者を諷めるために度々勅使を遣わされていた。しかし争いは収まらず、やがて一帯が焦土と化す事態となった。その時の勅使に随伴していた京人5人を葬った塚と伝えられている。
⑥	千坊山遺跡	新町	弥生時代終末期の大規模な集落遺跡で、独立した台地に24棟の竪穴住居跡が発見されている。王塚古墳・勅使塚古墳との地理的關係などから古墳時代の首長が生み出した集団の集落と推測され、背後の丘陵縁辺部にある六治古塚墳墓・向野塚墳墓・添ノ山古墳(消失)の3基の墓も、この集落が築いたと考えられている。
⑦	向野塚墳墓	新町	弥生時代終末期から古墳時代初頭に築かれた県内最古の前方後方形墳丘墓である。六治古塚墳墓の110

No	名称	場所	見どころ解説
			m北東に位置し、全長25.2m、前方部は長さ10.2m、幅8.1m、後方は長さ15.0m、幅16.5m、頂部の高さ1.7m、くびれ部幅5.1mで、周溝が巡っている。遺跡群唯一の前方後方形墳丘墓で前方後方墳への過渡期の墳丘形態。居住域は、六治古塚墳墓と同じ千坊山遺跡と考えられている。
⑧	六治古塚墳墓	新町	弥生時代終末期に築かれた四隅突出型墳丘墓で河岸段丘南縁辺部に立地し、南方の谷に辺呂川が流れている。一辺24.5m、高さ5.1mと大型で、突出部は長さ7.2m、幅10.6m。墳丘周囲の丘陵側に溝が巡っている。居住域は平野側にある千坊山遺跡と考えられている。
⑨	長沢東城跡	長沢	長沢の通称、無常山(海拔約130m)に長沢東城趾(地元では家老屋敷城址とも云う。)がある。一般的に長沢西城と合わせて長沢城と呼ばれている。この城は、長沢西城と同じく山裾を流れる辺呂川(山田川の支流)からの登りに大手口(虎口とも云う)があり、上へ昇って曲輪(郭)が7カ所に配置され、最も高い2カ所の曲輪が本丸と二の丸跡と言われている。その背後は、尾根道で長沢西城と繋がり、東へ各願寺、北へ猫坂峠を経て砺波の増山城とも繋がっている。この城は、長沢西城より後に築城されたと考えられており、南にある「富崎城」を守るため、あるいは攻めるために造られたものと考えられている。
⑩	長沢西城跡	長沢	長沢の通称、城山(または石山)と言われる海拔130mくらいの尾根に西長沢城の跡がある。一般的に東の無常山にある長沢東城と合わせて長沢城と言っている。この城は、東の山裾を流れる辺呂川からの大手口を経て場内に入り、最も広い曲輪(井戸跡がある)から最も高いところの狼煙台に至る。城内は、三回の屈折(枡形)と土塁や平場(武者隠し)の跡が残っており堅固な備えとなっている。しかし山頂から東城及び背後地へは尾根道で広がっており他の城との連絡路であったと思われる。この城は、何時、誰が築き、どう使われたかはっきりしていないが、「越登賀三州志」「肯構泉達録」等の記録によれば、南北朝時代(14世紀中期)に構築され、その後、戦略上必要なとき一時的に使われてきたものと思われる。なかでも中院定清や桃井直和がこの地で戦を繰り広げており、また佐々成政の頃、寺嶋牛助が居城していたとも伝わっている。
⑪	どんぐり橋	三の熊	古洞の池の管理用歩道橋で平成6年10月に完成した。 ・橋の長さ 110.6m ・幅 1.5m ・形式 吊り橋
⑫	富山市天文台	三の熊	公開天文台として国内有数、口径1.0mの主鏡を持つ高精度の反射望遠鏡で、はるかかなたの天体からの光を体験することができる。また光ファイバーで四季の星空を演出した部屋で昼間やくもりの夜でも随時、職員が季節の星座や話題の天体現象を紹介している。さらに野鳥観察室や屋上の双眼鏡などの野鳥観察の設備がある。
⑬	古洞のダム	三の熊	菅谷池と古洞池があったものを丘陵地帯(呉羽、小杉地区)に分布する田、畑地にかんがい用水を供給するため平成3年に造られたダム。昭和57年3月、富山市、婦中町、小杉町の丘陵部の畑、田など約756haを対象に農業用かんがい排水事業で整備されたアース式ダムである。 最大貯水量 3,495千m ³ 有効貯水量 3,320千m ³
⑭	古洞の湯	三の熊	地下2,500mからの温泉を持つ施設で研修、会議、バーベキューレストラン、ケビン(宿泊)など多目的に利用できる。名称は、「自然活用村」が整備事業名で「古洞の森」が整備した施設全体を呼ぶ。